

理念

災害に柔軟かつ迅速に対応可能な減災型社会の早期実現とその持続的な展開を目指し、幅広く防災・減災に関する研究・教育活動に取り組みます。

これらの活動は、学内にとどまらず、地域社会を実践の場（フィールド・キャンパス）とすることで、研究手法の開発からその成果を社会技術としてシームレスにつなぎ、減災型社会システムの構築に必要な人材育成を図ります。



平成 24 (2012) 年九州北部豪雨。熊本大学より白川を望む。

研究教育分野

1) 減災型自然・社会基盤研究推進分野

自然環境変動研究 災害史/地圏・気圏・水圏の環境変動 等
複合災害研究 災害メカニズム/災害リスク/総合防災計画 等
地域安全研究 社会基盤・施設設計/危機管理・災害復興計画 等

2) 社会技術実装分野

社会実装のためのプロトモデル開発と実証実験
学内他部署・行政機関・企業との人材交流・連携強化（含共同研究講座）

3) 防災・減災教育推進分野

小・中学校と連携した防災・減災教育プログラム・教材の開発
リスクコミュニケーションのプロトモデル開発と実証実験
地域防災リーダーの育成
国際的防災研究機関との教員・学生交流

減災型自然・社会基盤研究の推進

阿蘇自然災害ミチゲーションプロジェクト
ならびに豪雨災害への対応 等



熊本地震土石流災害調査

減災型社会システム構築支援と地域住民・市民への支援・啓蒙活動

「熊本県住民避難モデル実証事業」（予防的避難；熊本県連携事業）、講演会・公開講座・地域防災セミナー・「南阿蘇サイエンスカフェ」（熊本地方気象台・行政機関との連携事業）、自治会防災マップ作成支援、「避難所初動運営キット」の開発、住民説明会 等



避難所初動運営キット



「南阿蘇サイエンスカフェ」

防災・減災教育支援

小・中・高等学校と連携した防災・減災教育プログラム・教材の開発と学習支援



熊本県立第三高校「野外実習」



南阿蘇村南阿蘇中学校総合学習

減災型地域社会リーダー養成プログラム

熊本大学・熊本県立大学・熊本保健科学大学各大学の特徴を活かした連携による減災型地域社会リーダーの養成

減災型地域社会の リーダー養成 プログラム

